



2006年度BCAO分科会報告会

地域貢献・連携分科会の活動

2007年4月11日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)
地域貢献・連携分科会

◆活動テーマ

- 日本版BCPにおける「地域貢献・連携」について検討する。
なお、地域全体の継続との連携を視野に入れる。

◆具体内容

- 日本のBCPの特徴は、「地域との連携（地域での連携）」を社会貢献として位置づけられていることがあげられる。しかしながら、連携内容をはじめ、具体項目、手段、方法、または訓練方法等について整理・研究がなされていない。
- このため、本分科会においては、「地域連携」の具体像を明らかにするとともに、企業がBCPを作成、推進する上で参考となるようなテンプレートを作成する。

◆活動経緯

第1回06年7月20日	自然災害分科会からグループ分けされ、自然災害地域連携分科会として活動を開始。 当会の活動テーマ・具体内容を決定した。
第2回06年9月13日	メンバーにて企業と地域との連携に関するディスカッションを実施し、当会の検討の方向性を定めた。具体事例の収集と企業へのアンケート実施を活動内容とすることとした。
第3回06年10月10日	「初級テキスト」への掲載事項を検討した。
第4回06年11月20日	企業へのアンケート内容を検討した。



企業は、地域の一員！

- 企業が災害時にも事業を継続するためには、地域や自治体との連携が重要になる。
- 企業の地域連携には、企業の「業務を通じた活動」と「業務以外の活動」がある。



◆企業の業務を通じた地域連携(緊急対応時)

➤ 地域の経済、雇用を守る

- 企業は災害時にも事業を継続することで、地域経済、雇用を守ることが最も重要である。

➤ 企業の本来業務のノウハウ、資源、生産物で支援する

- 重機など建設機械の活用、生活必需品や医薬品の供給、支援物資の配送、専門家の派遣などがある。

◆企業の業務を通じた地域連携(事前準備)

➤ BCPに地域や自治体との連携を位置づける

- 災害時に地域連携として何をするかを事前に計画する

➤ 地域や自治体との協力関係を構築する

- 地域や自治体との災害時の協定締結、協力登録を行う



◆企業の業務以外の活動による地域連携(緊急対応時)

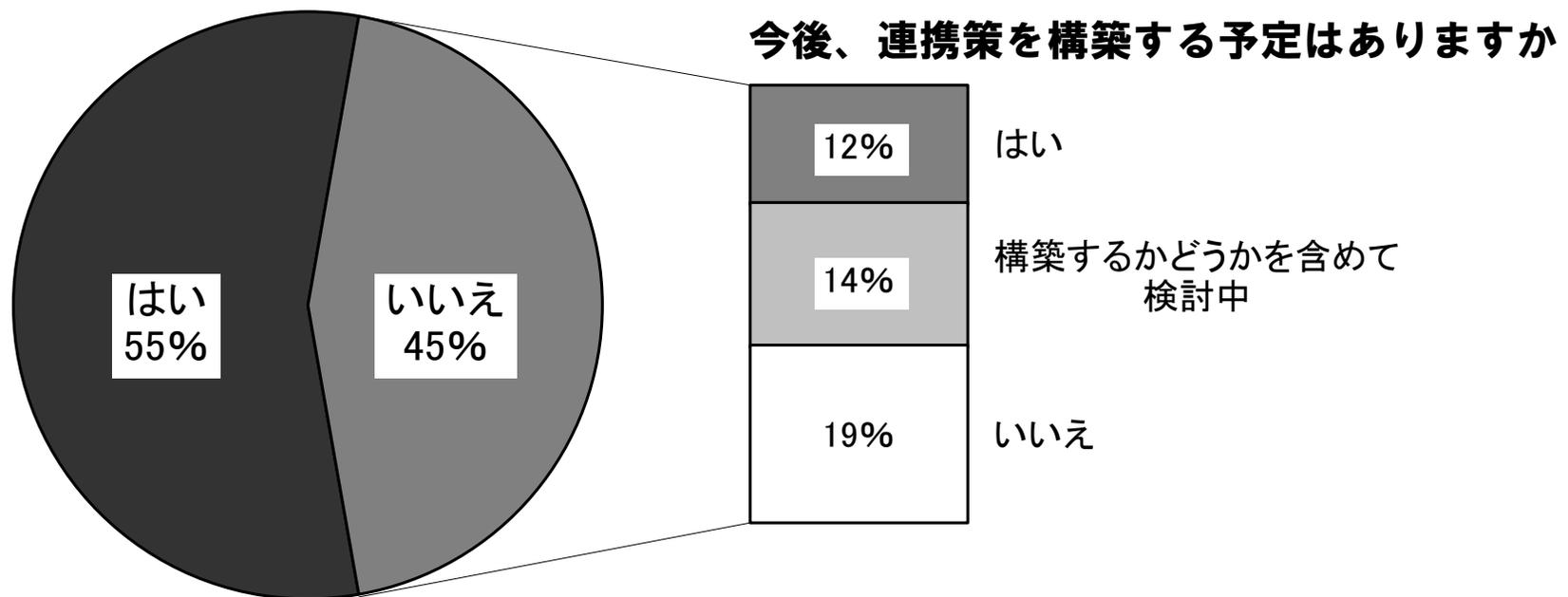
- 地域住民の救助活動を行う
 - 企業の資器材、組織力を活かして、生き埋めになったり、けがをしたひとを救助する。
- 避難所、炊き出し、物資の提供で支援する
 - 企業の施設や土地を地域住民に一時的に提供したり、炊き出しや備蓄物資の提供で支援する。

◆企業の業務以外の活動による地域連携(事前準備)

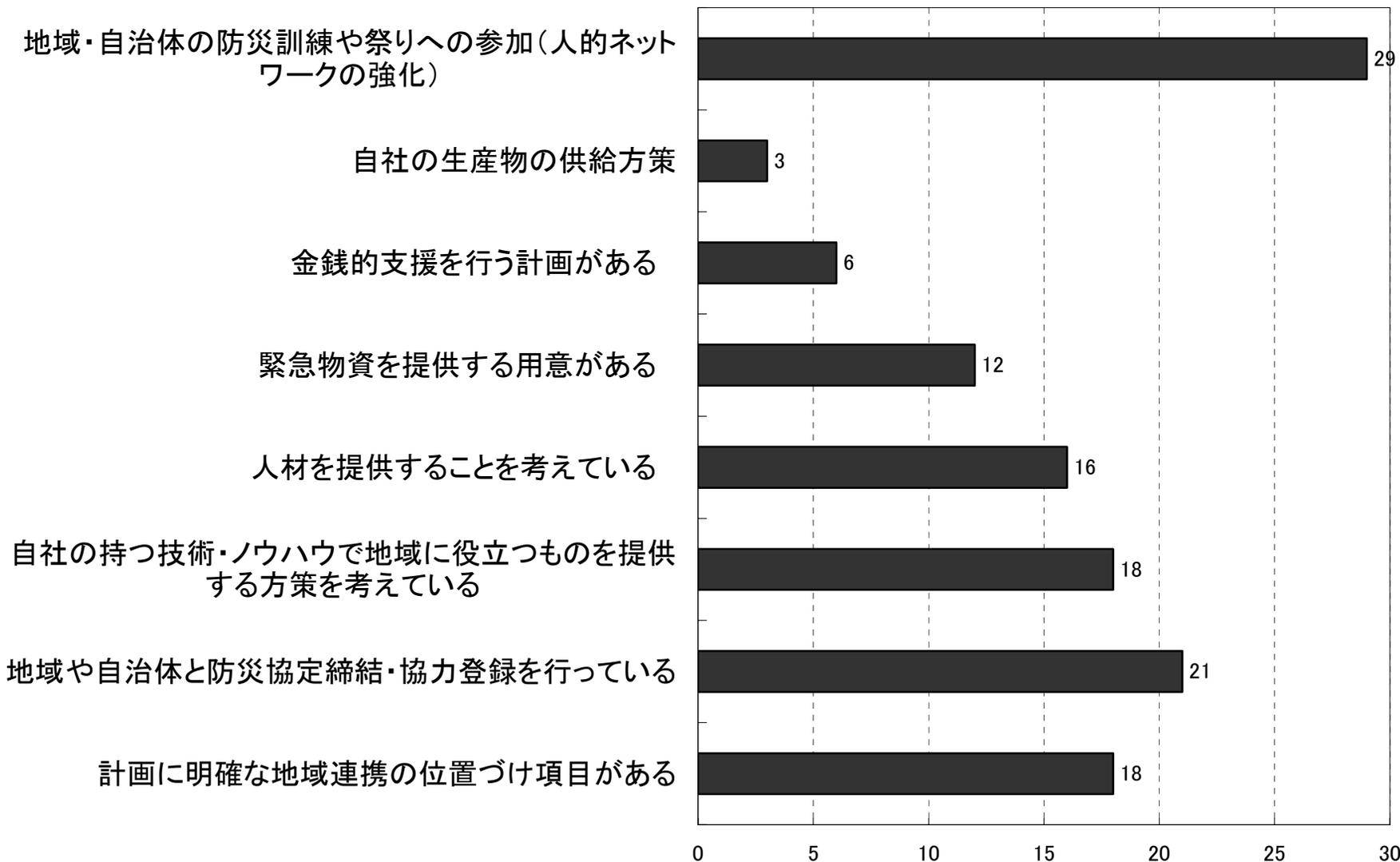
- 企業の災害対応能力を高める
 - 企業の自衛消防・防災訓練、資器材の整備をすすめる
- 地域や自治体と平常時からの連携をする
 - 防災訓練やまつりなどに積極的に参加し、人的ネットワークを強化する

◆約7割の企業が防災対策において地域や自治体との連携策を構築（予定含む）している

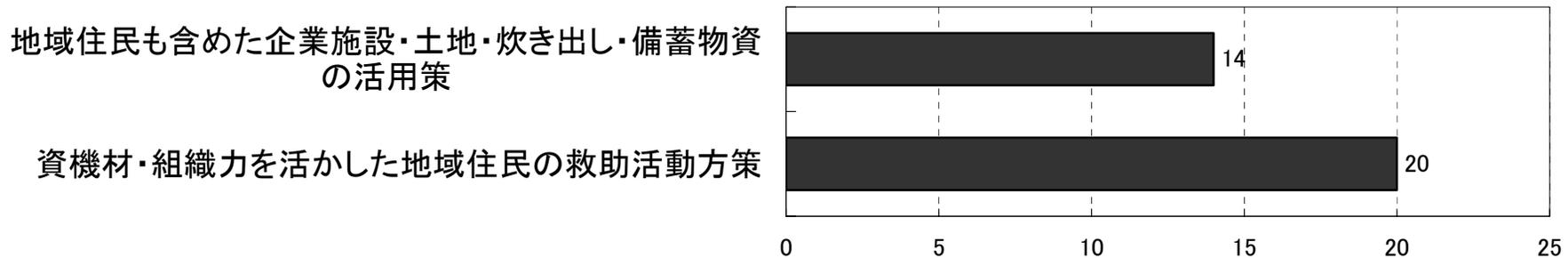
防災について、地域や自治体との連携策を構築していますか



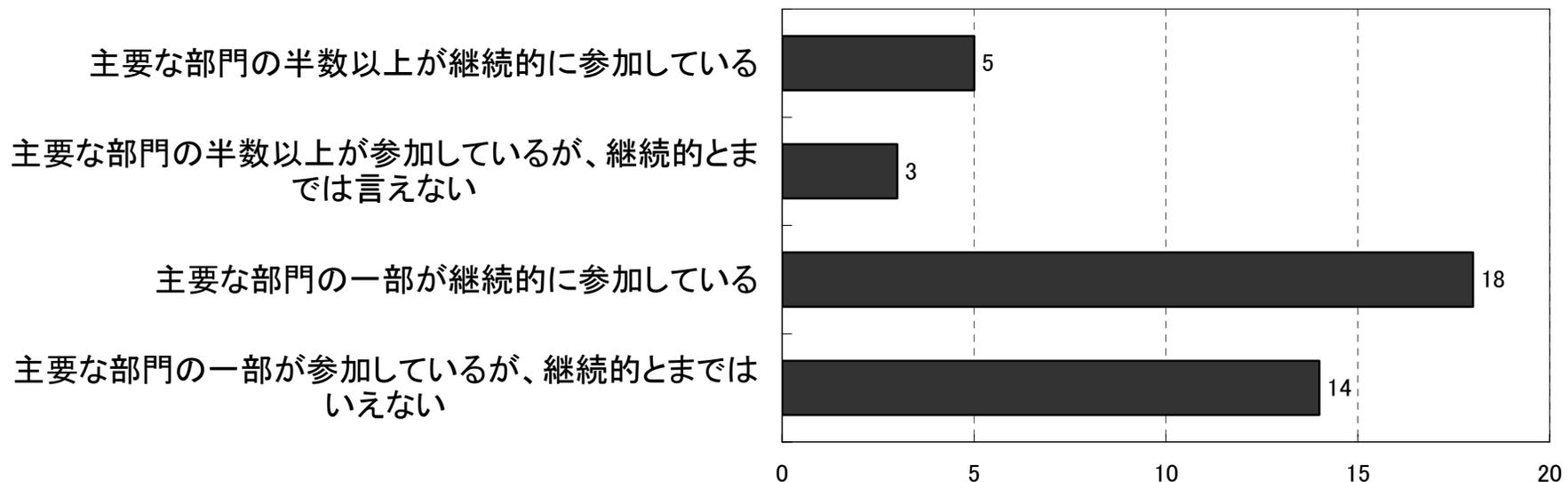
平常時に企業の業務を通じた地域連携策として、どのような対策を計画していますか



災害時における企業の社会貢献的活動による地域連携として、どのような対策を計画していますか



どの範囲で実施していますか



◆ B C Pにおける「地域貢献・連携」の現状整理

- 内閣府ガイドライン解説の分析
- アンケート結果の分析
- 必要に応じて企業へのヒアリングの実施

◆ 「地域貢献・連携」のテンプレート作成

- テキストへの記載内容の拡充
- 参考事例集の作成
- 記載内容に関するテンプレートの作成

特定非営利活動法人 事業継続推進機構



A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)

本部:

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館ビルB3階

TEL:03-5521-2235 FAX:03-5521-2236

Eメール:bc@bcao.org

ホームページ:www.bcao.org

支部:

〒553-0006

大阪府大阪市福島区吉野4丁目29番20号大阪NPOプラザ内115号

TEL:06-4804-6761 FAX:06-4804-6762